

令和6年度宇都宮市役所環境マネジメントシステム (もったいないEMS) 実績報告書(令和5年度分)

◎ 趣旨

令和6年度もったいないEMSの取組実績について報告するもの

1 もったいないEMSの概要

(1) もったいないEMSとは

宇都宮市役所が、行政活動の中で環境保全に関する取組を自主的に進めるために環境方針や目標を設定し、その達成に向け「もったいない」のころを持って取り組むための仕組み

(2) 期待される効果

- ・ 本市行政活動から生じる温室効果ガスやエネルギー使用量の削減
- ・ 職員の環境配慮意識の更なる向上
- ・ 事務事業の効率化を目指した業務改善

(3) 適用範囲

全ての市有施設における行政活動

(4) 管理項目

- ・ 温室効果ガス排出量
- ・ エネルギー使用量
- ・ 宇都宮市役所カーボンニュートラル実行計画に掲げる事業
- ・ エコオフィス活動
- ・ レスペーパー化
- ・ グリーン調達率
- ・ 環境法令の順守

(1) 温室効果ガス排出量の削減

ア 削減目標

温室効果ガス排出量については「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく地方公共団体実行計画である「宇都宮市役所カーボンニュートラル実行計画（令和6年2月策定）」において、平成25（2013）年度を基準として令和12（2030）年度までに75%削減することを目標としている。

項目	基準年度 平成25年度実績	目標年度 令和12年度実績	参考（H25比）	
			削減量	削減率
温室効果ガス 排出量(t-CO2)	111,610	28,000	83,610	▲75%

イ 温室効果ガス排出量の実績

（t-CO2）

基準年度	実 績				目標年度
平成25年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和12年度
111,610 ※括弧内の数値は、 基準年度比の削減率	84,379 (▲24.4%)	82,552 (▲26.1%)	73,130 (▲34.5%)	77,510 (▲30.6%)	28,000 (▲75%)

ウ 評価

令和4年度はクリーンパーク茂原の稼働停止期間（令和4年2月～12月）があり、ごみ焼却量の減少の影響が大きいため、令和3年度と比較すると5,042t- CO_2 減少している。要因は、ごみ焼却量の減少及び宇都宮ライトパワー(株)から調整後排出係数の低い電気の調達を拡大したことなどによるものである。

なお、基準年度比では、30.6%減少しており、排出量の削減が着実に図れている。

【ごみ焼却量の内訳】

(t)

施設名	R3 焼却量	R4 焼却量	R5 焼却量	R3とR5の増減	R4とR5の増減
クリーンパーク茂原	97,009.46	27,032.24	95,334.64	▲1,674.84	68,302.40
クリーンセンター下田原	52,536.11	46,790.09	45,181.82	▲7,354.59	▲1,608.27
合計	149,545.57	73,822.33	140,516.46	▲9,029.43	66,694.13

【調整後排出係数の推移】

(t- CO_2 /kWh)

事業者名	R3 係数	R4 係数	R5 係数
宇都宮ライトパワー(株)	0.000417	0.000358	0.000341
東京電力パワーグリッド(株)	0.000433	0.000434	0.000433

※調整後排出係数:小売電気事業者がそれぞれ供給した電気の発電に伴い、燃料の燃焼によって排出された CO_2 の量から算出する基礎排出係数に、非化石証書の環境価値の取引などを反映したもの

(2) エネルギー使用量の削減

ア 削減目標

市の行政活動におけるエネルギー使用量については、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」（省エネ法）に基づき、エネルギー消費原単位を中長期的（5年間平均）に年1%以上低減することを目標としている。

イ エネルギー使用量の実績

(原油換算kl)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市長事務部局	12,215	10,002	9,703	11,999	11,601
教育委員会	9,876	9,781	10,286	10,318	10,250
上下水道局	9,023	8,848	9,064	8,501	8,733
合計 (前年度比)	31,114 (100.6%)	28,631 (92.0%)	29,053 (101.4%)	30,818 (106.1%)	30,584 (99.2%)

ウ エネルギー消費原単位※の推移

※エネルギー使用量を床面積やごみ焼却量など密接な関係のある値で割った値

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均原単位	【参考】前年度 平均原単位
市長事務部局	101.0%	91.1%	111.2%	221.0%	88.7%	119.0%	122.9%
教育委員会	101.2%	95.9%	105.8%	99.1%	99.9%	100.1%	100.4%
上下水道局	94.9%	103.0%	97.8%	99.4%	99.1%	99.8%	98.7%

エ 省エネ法における事業者クラス分け評価制度

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市長事務部局	A	S	A	B	
教育委員会	A	A	A	A	通達待ち
上下水道局	S	A	S	S	

注：令和5年度のクラス分け評価は環境省からの通達を受け次第掲載予定

クラス	Sクラス (省エネが優良な事業者)	Aクラス (一般的な事業者)	Bクラス (省エネが停滞している 事業者)	Cクラス (注意を要する事業者)
水準	①努力目標達成※ または、 ②ベンチマーク目標達成	Bクラスよりは省エネ水準は高い が、Sクラスに達しない事業者	①努力目標未達成かつ 直近2年連続で原単位が 対前年度比増加 または ②5年間平均原単位が 5%超増加	Bクラスの中で特に判断 基準遵守状況が不十分

※努力目標・・・5年間平均エネルギー消費原単位を年1%以上低減すること

2 令和5年度の取組実績

オ 評価

エネルギー使用量は、令和4年度比で約230kℓ減少している。要因は、夏季の空調設備の使用が増加したものの、クリーンパーク茂原のバイオマス発電による電力の施設内利用が再開し、買電が大幅に減少したことなどである。

エネルギー消費原単位は、令和4年度比で市長事務部局の原単位が大幅に減少している。要因は、ごみ処理施設の算出において、密接な値（分母になる数）としてごみの焼却量を用いており、クリーンパーク茂原でのごみ焼却量が例年の水準に戻ったことによるものである。

※ クリーンパーク茂原の買電量：9,864,552kWh(R4) ⇒ 1,133,520kWh(R5)

(3) 宇都宮市役所カーボンニュートラル実行計画に掲げる施策の取組状況

計画開始年度は令和6年度からであるが、計画に基づく指標をもとに評価を実施した。
多くの施策が目標値から、乖離している状況にある。

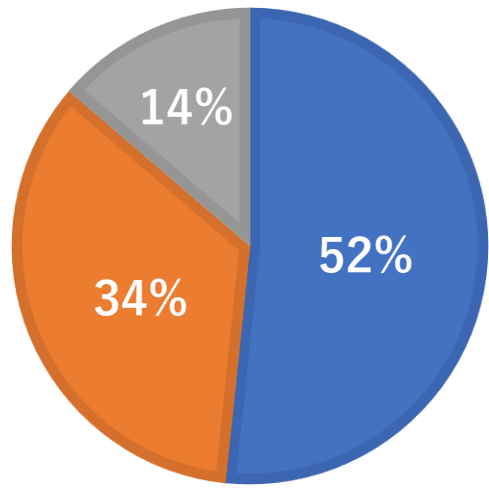
施策		指標	現状値 (令和4年度)	評価 (令和5年度)	目標値 (令和12年度)
【基本施策1】市有施設等における脱炭素化の推進					
施策1-1	省エネ設備等の導入による省エネルギーの推進	全館LED化施設数(累計)	70施設	81施設	320施設
施策1-2	再エネ設備の導入による創エネルギーの推進	市有施設等における太陽光発電設備設置容量(累計)	517kW	665kW	12,700kW
施策1-3	再エネ電力の調達等による脱炭素化	電力使用量における「再エネ100%電力」供給割合	0%	0%	100%
施策1-4	燃料使用量の削減	公用車の電動車化率 ※代替が困難な車両を除く	27.3%	30.2%	100%
施策1-5	各種調達における脱炭素化の推進	グリーン調達達成率	77.0%	98.1%	100%
【基本施策2】ごみ減量化の推進					
施策2-1	ごみの減量化, 資源化の推進	ごみの最終処分量	18,677t ※1	17,959t	16,000t
【基本施策3】職員の脱炭素型ワークスタイルの徹底					
施策3-1	「もったいないEMS」による一体的な環境管理の推進	エコ通勤実施率 ※「やむを得ない事情」により実施できない職員は除く	60.2%	84.0%	100%

※1 最終処分量については、令和4年度に発生したクリーンパーク茂原の火災の影響を受けているため、令和3年度の数値を現状値に設定

(4) エコオフィス活動（もったいない+1アクション）

電気・燃料のほか用紙使用量の抑制や職場におけるリサイクルの徹底、環境負荷に配慮した物品調達など、各種環境配慮行動から所属で重点的に取り組むものを一つ選び、実践強化を図るものを「もったいない+1アクション」として設定し、年間を通して実施した。約90%の部署で目標を達成・ほぼ達成となったが、一部の所属においては、印刷用紙の使用増加や猛暑によるエアコン使用時間増などにより未達成となった。

【もったいない+1アクション達成率】



■ 達成 ■ ほぼ達成 ■ 未達成

(5) レスパーパー化

印刷用紙類の削減については、各所属における電子決裁への移行や会議におけるレスパーパー化等の取組により推進されており、もったいないEMSにおいても、各所属において印刷量の削減目標、電子決裁比率の目標を定め、取組を行った。

管理項目	目標	令和4年度	令和5年度	前年比
複合機印刷量	各課設定	2,102万枚	1,897万枚	9.8%削減
電子決裁比率	各課設定	66.1%	71.4%	5.3%上昇

(6) グリーン調達率

「宇都宮市グリーン調達推進方針」に基づき各所属が積極的な環境配慮物品の調達に取り組んだ。

管理項目	目標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年比
グリーン調達率	100%	97.6%	77.0%	98.1%	21.1%増加

[調達率増の理由]

令和4年度は、施設の利用目的上、グリーン調達対象物品からの選定が困難な物品があったため

(7) 環境法令の遵守

各所属において該当する法令を確認し、年間を通して法令に基づいた取り組みを行った。

管理項目	目標	順調	要改善
環境法令の遵守	順調であること	100%	0%

(8) 研修

研修名	対象者	目的	主な内容
もったいないEMS事務研修	各所属の環境管理担当	もったいないEMSへの理解促進	環境マネジメントの必要性、もったいないEMSの概要、昨年度の取組状況、今年度の変更点
もったいないEMS内部監査員研修	各部局総務担当	内部監査員の監査概要、実施手順等の理解	内部監査の概要及び実施手順等

「宇都宮市役所カーボンニュートラル実行計画」に掲げた温室効果ガス排出量の削減目標を目指し、(株)宇都宮ライトパワーからの電力調達の拡大やごみの減量化、資源化等に着実に取り組んでいるものの、令和12年度の目標値を傾斜した場合、令和5年度の排出量は、62,427t-CO2になる必要があるが、実績は15,083t-CO2排出量が超過しており、目標達成に向けては、職員一人ひとりの省エネやエコ通勤など環境配慮行動の取組をより一層強化・徹底していく必要がある。

